

## ‘STOMA’ 投稿規定

### 投稿資格：

投稿論文の著者は、本研究会会員に限る。

### 論文の採択：

投稿規定に反するもの、科学性に欠けるもの、論文形式をとらないもの、本誌に不適當なもの以外は原則として採択し、掲載は投稿順とする。ただし、編集による変更は有り得、査読の結果、訂正、追加、省略を求めることがある。

### 投稿内容：

1. 人工肛門、人工膀胱、尿瘻などストーマや創傷や失禁に関する科学的論文であること。
2. 他誌に発表済み、投稿中、または投稿予定の原稿は投稿しないこと。また、採択ずみの原稿は原則として返却しない。

### 原稿の書き方：

1. **論文は**、データにて投稿すること。
2. **図表、写真は**、そのまま印刷できる鮮明なものを媒体内に保存し、またプリントアウトした物も添え、説明文は本文では行わないこと。1 図表 150 字以内で別紙または枠外にそのタイトルと説明を記載する。  
なお、写真以外の図表はグレースケールあるいは白黒で作成したものを添付する。
3. **文献は**、必ず本文引用箇所の右肩に番号をつけ、下記の要領で本文末尾に一括してまとめる。  
※著者名は 3 人までとし、それ以上は「、ほか」または「et al.」とする。  
(雑誌) 著者名：論文名、雑誌名、巻数、頁（初～終）、発行年  
(例) 進藤勝久、沼田悟、岩崎徹治：ストーマ周囲皮膚潰瘍に対するセラミド含有皮膚保護剤の効果、STOMA wound & continence、17(1)、17-22、2010  
(書籍) 著者名：論文名、編者、書名、発行所(出版社名)、発行元所在地(都道府県)、頁(初～終)、発行年  
(例) 西口幸雄、井上透、池原照幸：(3) 術中内視鏡検査、塚田邦夫 渡邊成、新版ストーマ手術アトラス、株式会社へるす出版、東京、24-25、2012  
(web) 資料(題名)、URL (例) ○○年第○回○○調査 <http://www.○○○.jp/001234.html>
4. **投稿チェックシート**を論文に添付する。※チェックシートは、雑誌巻末・ホームページ「投稿案内」を参照  
【チェック内容】投稿者名・連絡用メールアドレス<sup>\*1</sup>・投稿論文の区分(綜説・原著・症例報告・短報)・キーワード(和文・英文)・論文名(和文名と英文名)・著者名(共同執筆者を含む/和文名と英文名)・所属名・別冊請求先(〒・住所・所属名)・別冊希望数(30 部までは無料)  
<sup>\*1</sup>連絡用メールアドレス開示の可否について：投稿論文が採用された場合、校正は著者と出版社の間で行い、出版社にメールアドレスを開示していただくことと校正がスムーズに行えます。出版社にメールアドレスを開示してよいかをチェックシートで返答ください。
5. 論文を書くにあたっては、次の諸点に留意すること。  
序文：研究の必要性が簡単に書かれているか  
方法：対象：追試可能な書き方になっているか  
結果：結論に至るに十分なデータが適切に整理されているか  
考察：文献上の解釈、独自性、主張が明解か  
結論：研究目的に適合する方法、結果、考察から導かれたものか  
文献：数、新しさ、国際性からみて必要充分なものか

	原稿字数	図表	和文要旨	キーワード
綜説	6000 字以内	10 点以内	300 字以内	3 個以内
原著	6000 字以内	10 点以内	300 字以内	3 個以内
症例報告	3000 字以内	8 点以内	300 字以内	3 個以内
短報(研究速報)	3000 字以内	8 点以内	不要	3 個以内

### 校正：

初稿は著者校正とする。校正時の追加、削除は再査読とする。

### 付記：

1. **著作権**-論文等の著作権は当研究会に帰属させる。
2. **倫理的問題**-「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に留意すること。

### 規定の改正：

投稿規定は改正することがある。

### 原稿の送付：

送付方法：ホームページ「投稿案内」よりメールにてご投稿か、簡易書留で事務局までご送付ください。

【メール投稿】投稿チェックシートおよび原稿ファイル、グラフや図を作成したファイル、写真ファイルを添付してください。

【書留(郵送)投稿】プリントアウトした原稿一部とともに投稿原稿と同一内容をコピーしたメディア(CD-R・USB メモリーなど)を同封してください。

投稿後、約 1 週間以内に原稿受領のご案内を送付しますが、もし連絡がない場合には、事務局までお問い合わせください。

迅速な査読および連絡のため、できるだけメールでの投稿をお願いします。